

別することができる。

References

- MORIMOTO, K., 1981. The family Anthribidae of Japan (Coleoptera). Part 4. *Esakia, Fukuoka*, (17): 53-107.
- SHARP, D., 1891. The rynchophorous Coleoptera of Japan. Part II. Apionidae and Anthribidae. *Trans. ent. Soc. Lond.*, 1891: 293-328.
- WOLFRUM, P., 1929. Anthribidae. In JUNK, W., & S. SCHENKLING (eds.), *Coleopterorum Catalogus*, pars 102 (pp. 3-145). W. Junk, Berlin.
- 1953. Anthribidae. In HINCKS, W. D. (ed.), *Coleopterorum Catalogus Supplementa*, pars 102 (pp. 3-63). W. Junk, 's-Gravenhage.

Elytra, Tokyo, 17 (2): 238, November 15, 1989

新刊紹介

Fauna d'Italia: Coleoptera, Staphylinidae, Omaliinae. By Adriano ZANETTI. XII+472 pp., 1987. Edizioni Calderini, Bologna. L 46,000.00

Fauna d'Italia の第 25 巻として、1987 年にハネカクシ科の Omaliinae (ヨツメハネカクシ亜科) が発行された。この書は Dr. Adriana ZANETTI によるもので、このシリーズ中ハネカクシ科としては、Dr. Arnaldo BORDONI によって 1982 年にとりまとめられた Xantholininae (ナガハネカクシ亜科) に次ぐものである。

内容の項目だては、今回の Omaliinae も Xantholininae の場合とほぼ同様で、本亜科の形態、行動、生態、生物地理および化石種などのそれぞれについての概説であり、そのあとにイタリアに分布している本亜科 36 属をモノグラフとしてとりまとめている。Xantholininae の場合と大きく異なっているのは、今回の場合はモノグラフ中の検索表がイタリア語とともに英語が併記されている点で、イタリア語にはなじみの薄い日本人にとってはたいへん有難いことである。

イタリア産 36 属中には、4 属を除いた日本産の大部分の属が含まれ、主要な属には代表種の全形図が掲げられている。また、それぞれの種については、同物異名、記載および分布地などが付されていると同時に雄交尾器が図示され、現在ハネカクシの研究に従事しているものばかりでなく、これからハネカクシを研究しようとする人にとっても、たいへんに便利かつ有益な文献である。

(渡辺泰明)